

社会福祉法人北杜（所在地：秋田県秋田市）

事業名

ほくと障がい者の生涯学習教室 中通クラス

事業の趣旨・目的

当事者が主体的に自ら興味のある事を選択したり提案したりして活動できる場とする。

障がいのある人もない人も共に過ごし学べる場とすることで、お互いに理解し合い、共に生きられる地域づくりを目指す。



事業実施体制・連携先

・事業実施体制 連絡協議会 年2回開催
・連携先など・秋田市障がい福祉課 ・秋田市生涯学習課・秋田市社協・特別支援学校・秋田大学・聖霊女子短期大学

主な対象

すべて

活動分野

文化芸術/スポーツ/普及啓発

事業内容

- ・視察先の一麦会さんで、当事者が自分のやりたいことを話し合っており取り組んでいる姿を見てきた。中通クラスでも昨年度、参加者からいくつか提案があった。そのアイデアを実現できるようにしていく。
- ・地域資源や人材とのつながりを構築し、当事者が主体的に選択できる機会の獲得を目指す。
- ・連絡協議会を実施して、秋田に住む当事者にとって必要な事業であると認識してもらい、委員メンバーが所属する組織においても、主体的にこの事業に参画してもらえるような体制を目指す。
- ・法人職員の専門的で文化的な知識や技術と、仕事で培った支援技術を活かした、障がい者の生涯学習教室を定期的に開催する。
- ・e-スポーツ講座では、自分でプレイするのはもちろん、他の人を応援する場面も非常に盛り上がり、ゲーム画面の中では障がいのあるないにかかわらず活躍できることが魅力である。また、通常のコントローラーを両手で握れない場合でも、ハブをつないで本人が押しやすい位置にボタンを設置することができます。本人がプレイしやすい環境を整えていく事で、ゲームはできないと思っていた人でもプレイして画面の中で活躍することができる。当事者が障がい等を理由に諦めかけていたことを実現するだけでなく、ゲームを通じた人との交流や、体験が当事者同士の人間関係形成、練習に取り組んで達成する成功体験、他者と協力する協調性など多くの学びにつながることを期待できる。
- ・アート教室では絵の具などを使ったりデジタルを使ったりして作画し、自分で表現したものをキュレーションして、意味付けすることで、他者に伝わりやすくなる。写真教室では、スマートフォンを使った撮影を中心に、SNS発信なども視野に入れた撮影のポイントを伝え表現の幅を広げてもらう。それらの作品を公募展などに出品する。防災教室では、体験的な活動を多く取り入れ、災がい時の対応などについて主体的に学べるようにする。参加する当事者の言葉を大切にしながら講座を組み立て、基礎的な知識や技能の習得を目指すだけでなく、災がい時の避難所などにおいて支援される側から支援する側の人材育成へもつなげていきたい。

事業終了後の目指す方向性

- ・当事者にとって仕事やサービスの場以外で集まり、学び語らう場サードプレイスとして、また支援者や参加者にとって、障がい理解のみならず生涯学習の場となることが期待できる。
- ・連絡協議会の強化、ボランティア養成を行い。行政や障がい福祉分野関係者との連携により、地域に根ざした継続的な取組とする。

その他

2024年度 成果物
成果報告会動画



Instagram

